

科目名 災害看護・国際看護 時間割表記名 災害看護・国際看護	配当時期 3年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 八代利香 今村祐太 益田洋子 川島千愛 中島美佳 松 嵯 弘 毅 清永正	
事前学習内容			
授業目標 1. 国内外の災害の現状を理解し、災害の看護の基礎的知識が理解できる。 2. 災害発生時の対応や体制について理解できる。 3. 災害のサイクルにおける災害医療や看護の役割が理解できる。 4. 国際化(世界化)時代における看護専門職の役割と責任、異文化理解について説明できる。 5. 保健・看護の国際協力とネットワークおよびその背景について説明できる。 6. 世界の健康リスクと格差、課題と戦略の概要について説明できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	【災害看護】 1. 災害の定義 2. 災害の種類と健康被害 1) 圧挫症候群(挫滅症候群、クラッシュ症候群) 2) 深部静脈血栓症(DVT) 3) 心的ストレス 4) 災害関連死	講義	テキスト①
2	3. 災害医療の特徴 1) 災害医療の考え方 2) 災害医療実施のための体系的なアプローチ(CSCATTT) 3) トリアージとは 4) 災害医療チーム(DMAT・DPAD) 5) マスギャザリングとNBC 災害	講義	テキスト①
3	4. 災害看護の基礎知識 1) 災害看護の定義と役割 2) 災害看護の対象 (1) 要配慮者 (2) 避難行動要支援者 3) 災害看護の特徴と看護活動	講義	テキスト①

	(1)災害看護と救急看護の違いと共通点 (2)災害看護と法律 1)災害対策基本法		
4	4. 災害発生時の社会の対応やしぐみ 1)災害に関連する制度と情報伝達体制 2)災害拠点病院の機能と役割 3)災害関係各機関の支援体制 4)災害情報の種類と内容 (危険情報・避難情報・被害情報・生活情報)	講義	テキスト①
5	5. 活動現場別の災害看護活動 1)災害サイクルとは 2)災害サイクルに対応した看護活動 (1)超急性期・急性期 (2)亜急性期 (3)慢性期 (4)復興期 (5)静穏期・災害準備期 2)災害看護活動における救護者の安全対応 3)災害看護活動に必要な情報 (1)被災地での情報収集 4)災害看護活動におけるアセスメント	講義	テキスト①
6	6. 災害と感染制御 1)災害後の時間経過と感染症の発生リスク 2)被災地の感染制御 3)災害時の感染症の動向と対策	講義	テキスト①
7	7. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 1)被災病院における初動体制の立ち上げと傷病者受け入れ 2)救護所の立ち上げと傷病者への対応 3)避難所における健康と生活支援 4)仮設住宅における被災者生活支援 5)復興期における被災住民への生活支援と看護の役割 6)ボランティア	講義	テキスト①
8	8. 災害とこころのケア 1)災害がもたらす精神的影響 2)被災者のこころのケア 3)遺族のこころのケア 4)被災救援者のこころのケア 5)救援者のストレスとこころのケア	講義	テキスト①

9	6.災害時における看護支援活動 1)災害時に必要な技術 【トリアージ】【BLS】 【救急処置:代用品を用いた処置】 【搬送:担架・代用品を用いた搬送】	演習 シミュレーション	テキスト①
10			
11	筆記試験(45分)課題含む	筆記試験	
12	【国際看護】 1. 看護・保健のグローバル化と看護職の役割と責任 1) 保健ネットワークの初期の動向 2) 国際連合の設立 3) 世界保健機関の設立 4) プライマリーヘルスケアのアルマアタ宣言 5) 国際保健の定義と範囲 6) 国際看護の定義と経緯:International Nursingから Global Health Nursingへ	講義	テキスト①
13	2. 保健の国際ネットワーク 1) WHOの原則と目的 2) WHOの自治(世界保健総会、執行理事会、事務局) 3) WHOの地域的機関、予算 4) WHO看護・助産開発協力センターの活動 3. 日本の国際協力の概要 1) 開発協力と政府開発援助(二国間援助、多国間援助) 2) 政府開発援助大綱 3) 日本のODAの実績 4) ODAと国際協力機構(JICA) 5) 技術協力の種類と取組 6) 国際協力活動の実際	講義	テキスト①
14	4. 世界の健康－課題と戦略 1) 過去50年間の世界の健康 2) 健康リスク(貧困、環境要因、高齢化) 3) 世界の死因とDALYs (感染症、非感染性疾患、傷害) 4) 戦略(MDGs、SDGs、UHC)	講義	テキスト①
15	5. 異文化理解 1) 文化の定義 2) 文化の多様性と看護 3) 文化モデル	講義	テキスト①

	4) 文化的コンピテンシー 5) 文化への適応 6) 外国人への対応の実際		
16	筆記試験（45分）、課題含む	筆記試験	
受講上の注意 【災害看護】講義と演習により学習する。評価は筆記試験で行う。 【国際看護】4回の講義により進める。評価は筆記試験で行う。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 看護の統合と実践 災害看護学・国際看護学 医学書院 参考文献 ②系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院			